

一般社団法人 全国腎臓病協議会

2016 年度（平成 28 年度）事業計画

はじめに

全腎協は、本年結成 45 年を迎え、一般社団法人全国腎臓病協議会（全腎協）として 3 年目のスタートをしました。昨年は公益法人として社会から信頼されるべくセルフ・ガバナンス（統治・統制能力）の効いたコンプライアンス（法令遵守）体制のある組織運営のため理事研修会、全国事務局長研修会を実施しました。先人が命を懸け、多くの関係者、関係団体からの支援をいただき今日の全腎協があります。私たちはそれを受け継ぎ維持し次の世代に引き継がなければなりません。そのためにも患者・家族、関係団体、国民から信頼される組織をめざし、本年も引き続き研修会等を開催し、公益法人としてふさわしい取り組みを行います。あわせて、結成 45 年目の節目の年として記念事業にも取り組みます。

組織内では、加盟都道府県組織も同様、患者の高齢化・要介護患者の増加、患者会活動の後継者不足、患者の意識の変化等様々な背景の中で会員の減少が続いて、私たちの治療・療養・介護に関する制度、法律の見直し、改正が行われていて、今一度全国の腎臓病患者が手をつなぎ「いつでも、どこでも、誰もが安心して治療が受けられる」環境を守らなくてはなりません。そのためにも組織強化は、活動の基盤となる喫緊の重要課題であり本年は、加盟組織と連携し「特区チャレンジ事業」を設け具体化に取り組んでいきます。

昨年度は、介護保険制度改定および診療報酬改定、障害者総合支援法（自立支援医療の経過措置）施行 3 年後の見直しに関わる議論が展開され、全腎協は関係団体と一緒に、情報収集と厚生労働省に対して要望書提出や担当課に意見を述べるなどの活動を行いました。

本年は、昨年「1. 27 集会」で私たちが懸念してきた患者申出療養費制度が始まり、入院食費の負担引き上げもスタートしました。さらに、昨年打ち出された「骨太の方針」では、今後、高齢者の高額療養費の負担引き上げや入院時の居住費負担、介護の分野では、65～74 歳の利用者負担の 2 割引き上げなど、高齢者を取りまく社会保障制度改革を検討していくことが計画されています。

腎臓病患者をこれ以上増やさないための慢性腎臓病（CKD）の予防啓発事業や介護支援が必要な患者への通院送迎支援、特養などへの入所・入居対策への取り組み。高齢患者の医療の在り方や安心して生活ができる年金制度への取り組みなど課題は山積しています。財源の問題を理由に社会保障制度が後退し、患者を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、全腎協は、私たちの活動の柱である「いつでも、どこでも、誰もが安心して治療が受けられる」ため、全国の仲間が一丸となって力を合わせ、患者一人ひとりが安心して生活できる環境づくりに向けた事業を展開していきます。

1. 腎臓病に関する市民公開のシンポジウムや講演会の実施

(1) 2016年度全国大会

全腎協結成45周年・兵庫県腎友会結成45周年合同記念大会

日時：5月15日（日）

会場：国際会議場ポートピアホール（神戸市）

共催：NPO法人兵庫県腎友会

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

(2) 第23回腎不全対策キャンペーン講演会（日程、会場等未定）

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

共催：名古屋市臨床疫学研究会、一般社団法人愛知県腎臓病協議会

(3) 腎臓病（CKD）シンポジウム及び講演会等の開催

① 慢性腎臓病（CKD）の予防啓発を目的とした講演会

② 腎臓病患者の栄養、食事管理についての講演会及び調理実習

③ 長期透析による合併症対策講演会

④ 関係団体等の慢性腎臓病（CKD）対策事業への協力

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

日時、開催地、講演内容などについて共催団体、企業等と調整中

2. 臓器移植普及・推進のための国民に向けた啓発事業の実施

(1) 臓器移植フォーラムの開催（日程、開催地、調整中）

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、学生、一般市民

(2) えてがみコンテストの開催（日程未定）

10月の厚生労働省臓器移植普及推進月間に合わせて、臓器移植を考える機会となるよう「えてがみコンテスト」を実施

(3) 臓器移植普及推進月間（10月）を中心に、市民を対象とした全国啓発キャンペーンの実施

3. 腎臓病に関する無料相談の実施

(1) 専門家（医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士）による電話相談（フリーダイヤル）事業の実施

(2) 事務局相談担当者による相談事業

(3) 第16回相談員研修会の開催

日時：11月5日（土）6日（日）
会場：アワーズイン阪急（品川区大井町）
参加対象者：都道府県加盟組織相談担当者を予定

（4）関係団体等の研修会、研究会への参加

4. 腎臓病に関する情報発信

- （1）会報「ぜんじんきょう」の発行
年6回、年間総発行数60万部を予定
- （2）声の会報
年6回、視力障害者等を対象に会報「ぜんじんきょう」を音声化したCDを配布、年間600枚を配布予定
- （3）書籍の発行
「透析をはじめの人のためのガイドブック」等腎臓病患者の生活の向上に役立つ書籍の発行
- （4）ホームページの活用
腎臓病についての全般的な情報のほか、腎臓病に関する講演会などの開催情報など随時掲載する
- （5）ニューズレターでの情報発信

5. 通院介護対策事業への取り組み

- （1）通院、入所、入居、在宅治療における課題への具体的取り組み
 - ① 要介護（要支援）透析患者の通院および、公共交通機関の廃止に伴う通院困難者対策への取り組みとして、地域を限定した実態調査の実施
 - ② 通院困難者（重度要介護者）の施設入所・入居対策
 - ③ 在宅透析やサ高住等での透析システムの検討
- （2）通院介護学習会の開催
日時、会場、研修内容等について検討・調整中
参加対象者：開催地のブロック協議会、近隣県組織からの参加を検討中
- （3）情報発信
 - ① 「はあとなび」の発行
 - ② 入居施設従事者に腎臓病患者、透析を理解してもらうための啓発事業

6. 透析医療の確保、治療と生活の質の向上への取り組み

(1) 公的医療費助成制度の確保

- ① 自立支援医療（更生医療）の維持への取り組み
- ② 都道府県単独事業、障害者医療費助成制度の後退阻止、地域間格差是正のための取り組み、情報を共有し都道府県組織での取り組みを推進
- ③ 国民皆保険制度の維持への取り組み
- ④ 「いつでもどこでも誰もがが必要な医療・介護が受けられる」取り組み

(2) 2016年度診療報酬改定への取り組み

2016年度改定にともなう影響についての調査

(3) 「患者中心の医療」の実現

- ① 自己管理できるだけの基礎知識の習得（血液検査の数値の意味・食事療法の基礎知識等）
- ② 関係団体（日本透析医会、日本透析医学会等）との協調・連携

(4) 治療選択の拡大への取り組み

- ① 血液透析療法の選択肢が出来る環境の拡大
患者のライフスタイルに応じ生活の質を向上させる血液透析療法（長時間透析・夜間透析等）が選べる環境
- ② 在宅医療の環境整備

(5) 青年層を中心とした中長期透析でQOLを下げないための研修会の開催

日時：8月27日（土）28日（日）

会場：アワーズイン阪急（品川区大井町）

参加対象者：都道府県加盟組織の青年層等の参加を予定

(6) 再生・移植医療の調査

- ① iPS細胞を使った再生医療やES細胞からの治療薬の研究の情報収集、早期実現を目指した取り組み
- ② 関係団体との連携等

7. 生活・所得補償

(1) 生活出来る年金額の実現への取り組み

(2) 腎臓病患者、透析患者の就労支援

8. 災害対策

- (1) 災害時におけるマニュアルの整備
(災害時の通院方法・避難場所・安否情報の発信等)
- (2) 災害時の食事管理についての研修会の開催
日時、研修内容、対象者等について検討中
- (3) 災害時を想定した日頃からの自己管理の重要性についての啓発
(日頃の透析治療内容・薬の把握、食物管理、体重管理等)
- (4) 行政、関係団体等との連携による広域災害対策への取り組み

9. 調査研究と政策提言

- (1) 第46次国会請願の実施(国会請願集会を2017年3月16日木曜日予定)
- (2) 2016年度血液透析患者実態調査(5年毎)
- (3) 第61回日本透析医学会学術集会への参加
日時: 6月10日(金)～6月12日(日)
会場: 大阪国際会議場他(大阪市)

10. 組織的課題への対応

- (1) 一般社団法人としてふさわしい組織基盤の確立
 - ① 一般社団法人としてコンプライアンス(法令遵守)体制への取り組み
 - ② 「事務局ハンドブック」の発行(追加資料)
 - ③ 理事研修会の開催(日程、会場等未定)
理事の業務、責任、義務の明確化等について研修
 - ④ 全国事務局長会議の開催
日時: 7月9日(土)10日(日)
会場: アワーズイン阪急(品川区大井町)
参加対象者: 都道府県加盟組織事務局長を予定
- (2) 組織強化、入会率の増加への取り組み
 - ① 入会案内ポスターの改定と印刷
 - ② 透析医学会学術集会へのブース出展による医師、医療従事者などへの認知度を上げるための取り組み
日時: 6月10日(金)～6月12日(日)
会場: 大阪国際会議場他(大阪市)
 - ③ マスコミ、企業等との連携による社会へ訴える取り組みについて検討

し、具体化を図る

- ④ ブロック担当理事の役割と権限の明確化への取り組み
- ⑤ 都道府県組織を対象とした「特区チャレンジ事業」の新設

(3) 事務局体制の整備

- ① 事務局運営でのコンプライアンス（法令遵守）、ガバナンス（統治・統制能力）体制への取り組み、事務局体制、事務局員の業務・責任の明確化
- ② 事務局員のスキルアップのため、研修会等への参加

(4) 中長期の全腎協の運営、財政について検討する機関の設置

会員減少等を鑑み中長期（5年）の全腎協運営について引き続き検討

11. 事業推進のために

(1) 各種会議の開催

① 社員総会

- | | |
|-----------|--------------------|
| 第3回定時社員総会 | 日時：6月4日（土）5日（日） |
| 第4回臨時社員総会 | 日時：11月26日（土）27日（日） |
| 第5回臨時社員総会 | 日時：3月26日（日）（会場未定） |
- 会場：大森東急イン（大田区大森北）

② 理事会

- | | |
|-----------|---------------------|
| 第9回通常理事会 | 日時：4月23日（土）24日（日）大阪 |
| 第10回通常理事会 | 日時：9月24日（土）25日（日）大阪 |
| 第11回通常理事会 | 日時：1月21日（土）22日（日）東京 |
| 第12回通常理事会 | 日時：3月11日（土）12日（日）東京 |
- 会場：アワーズイン阪急、新大阪丸ビル

③ 業務執行役員会

④ ブロック会議

(2) 結成45周年記念「感謝のつどい」の開催

- 日時：6月5日（日）
会場：大森東急イン

(3) 事業推進体制

(4) 関係学会等との連携

(5) 関係団体との連携